

※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

知事 の学校訪問！ in 福井県

福井県の先進的な取組を学び、今後の三重県の取組に生かしていくために、知事が、福井県永平寺町立松岡中学校を訪問し、中学校3年生の数学の授業を参観するとともに、意見交換をおこないました。

●●●「福井県永平寺町立松岡中学校」の取組の特徴●●●

松岡中学校は、生徒数が300名余りの中規模校です。生徒が安心して、意欲的に授業に臨めるよう先生同士が常に情報交換を行い、共通理解を図るとともに、授業規律の徹底を図っています。

また、生徒に達成感を持たせる機会をたくさん作ることで、生徒の学ぶ意欲につなげています。

松岡中学校から見える「福井らしさ」

● 家庭学習の取組

- ・宿題の内容や量を学校で統一
- ・先生が必ず朝点検し生徒の達成度を確認してから授業

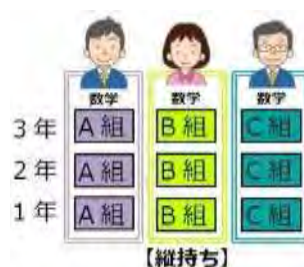
● 学び合う教師集団づくり

- ・「校内の教科会・学年会」に加えて「県や町の自主研究会等」への参加

● 教科担当の「縦持ち」

- ・学年をまたいで教科を担当

参加率
100%!!



●●●意見交換より●●●

知事：授業を参観させてもらって感銘を受けました。特に**授業規律**が保たれているのが印象的でした。授業規律を保つために大切にしていることを教えてください。

校長：学年主任を中心にスクラムを組み切磋琢磨しながら日々の教育活動に取り組んでいます。

教諭：ノートの書き方については、1年生から細かく指導をしています。また、町内の数学の先生が集まって情報交換をしながら永平寺町全体でノートの書き方を統一しています。

知事：今日の授業では私も生徒のプリントを全部見て回りましたが、無解答や放り投げている子はおらず全員が課題に向かっていました。生徒たちを**意欲的に学びに向かわせる**ために意識されていることがあれば教えてください。

校長：定期テスト以外に、国語、数学、英語では「ドリルコンテスト」を行っています。出題範囲を事前に知らせたり、放課後補習を行ったりすることで、多くの生徒たちが満点を取れるようになり「出来た！」という達成感を持ちます。この達成感が生徒たちの学ぶ意欲につながっています。

教諭：生徒たちに「まずは、チャレンジしなさい。」と話をします。チャレンジをした結果が解答に残っていますから、チャレンジしたことを認めるコメントを返すようにしています。

知事：**宿題**の出し方に関する工夫は何かありますか。

教諭：授業の最後に「今日の宿題は〇〇です。」と言ったときの生徒たちの反応を大切にしています。生徒たちの「これなら出来る。」という気持ちも大切にしています。宿題のやり方や提出の仕方について、1年生の一番最初に細かく指導しています。

知事：**先生たちのモチベーションの高さ**の要因について教えてください。

教諭：「分かった！」と言う生徒が多くなると嬉しいです。授業力を高めようと思います。また、先生同士の様々な情報交換の中で授業力の向上につながるものが沢山あります。

知事：こういう**前向きなスパイラル**になっているのがいいですね。



◆特集◆ 全国学力・学習状況調査から見えてくる授業改善

Let's 授業改善!!



アクティブ・ラーニングとは？

- ①自ら課題を発見！
- ②主体的・協働的に探究！
- ③学びの成果等を表現！

学びの質や深まりを重視する学習

● アクティブ・ラーニングでは…

- 実際にやってみて考える
- 意見を出し合って考える
- わかりやすく情報をまとめ直す
- 活用問題を解く など

児童生徒の「わかった!」「できた!」があふれる授業!!

● 教員は…

《アクティブ・ラーニングでめざす姿》

自立・協働・創造

児童生徒に「教える」立場

児童生徒を「導く」立場

児童生徒のつまずきに対してその原因や答えを言う

児童生徒自らが「原因」や「答え」を導き出す

児童生徒の学びの深まりにあわせ、その少し先に課題を置きながら進む

課題を自ら見つけ、解決していく児童生徒に!

問題を解決していく手伝いに徹する!

全国学力・学習状況調査を活用した授業改善

【問題 3】 6年生が紙しばいを作り、1年生に読み聞かせをすることにしました。

【設問二】 「もうよい。わしの負けじゃ。」を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましょう。

条件1 声に出して読むときにくふうすることを書く。

条件2 なぜそのように読むのかという理由を書く。

「自らの課題解決に向けて主体的に言葉や文章に働きかけて読む力」が必要!

「論理的に相手にわかるように説明する力」が必要!

【平成27年度全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 国語B 問題 3 設問二 より抜粋】



研修講座案内

授業づくり (中学校国語)

言語活動の充実について、具体例をとおして研修を深め、授業力の向上をめざします。

- 日時 平成27年8月21日(金) 13:30 ~ 16:30
- 場所 県総合文化センター フレンテみえ セミナー室B
- 講師 十文字学園女子大学 教授 富山 哲也
(前文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)
- 内容 講義・演習 「生徒が主体的に学習する中学校国語科の授業づくり」
【問い合わせ先】三重県教育委員会事務局研修推進課 (059-226-3572)

町全体の子どもたちの 学力向上を目指して！



木曽岬町マスコットキャラクター

木曽岬町では、10年間を見据えてめざすべき教育の姿を示した「トマッピー教育プラン」に基づき、さまざまな教育施策を展開しています。

学校の取組

■ 個に応じた支援、補充学習等の充実

● 朝学習でつまずき発見、宿題プリントで補充

- ➡ 小学校算数科 ドリル（「活用」に関する問題）等の児童の誤答状況の**分析結果をもとに**宿題プリントを改訂（第2学年）
- ➡ 小学校国語科 ワークシート（県教育委員会作成等）の解答状況から、**つまずきの多かった問題を授業のはじめに解説し、似た問題を取り入れて**宿題プリントを作成（第5学年）



● 個に応じた支援 ➡ きめ細かなノート指導、休み時間の補充学習

■ 教員の指導力向上

- **教員への助言** ➡ 児童の学力状況の分析結果をもとに、指導方法や子どもへの関わり方等について、指導員（退職教員）が、教員へきめ細やかな支援や適切な助言を実施（「H26 補習等のための指導員等派遣事業」〔文部科学省〕を活用）

地域の取組

■ 土曜日や夏季休業中等を有効活用した補充学習の充実

● 土曜チャレンジスクール（月2回程度、小学校4～6年生対象に木曽岬小学校の図書室で実施）

- ・ 算数の基礎・基本の内容を復習
 - ➡ **学力の向上**
- ・ 活用に関する問題（全国学力・学習状況調査の過去問等）にチャレンジ
 - ➡ **知識・技能を活用して、課題を解決する力の向上**
 - ➡ **子どもが思考過程を指導者に話すことで、言語活動の充実！**
- ・ 地域住民や大学生が参加児童を指導
- ・ 保護者が輪番で採点（「H26 地域による土曜日等の教育支援事業」〔三重県教育委員会〕を活用）



● 夏季休業中の学習会（小学校、中学校とも5回開催）

- ・ 小学校では教員と地域の大学生が、中学校では教員と県内の大学生が指導者となり指導（「H26 地域による学力向上支援事業」〔三重県教育委員会〕を活用）

市町教育支援・人事監 加藤 剛

5月の連休を利用して、愛知県の民間教育団体が主催する学級づくり講座に参加しました。講師は、評判の高い大阪市の小学校教員で、その話術が優れていることもあり、会場は若手教員を中心に熱気にあふれていました。休日そして県外での開催、さらには自費負担の必要な講座にもかかわらず40人以上の参加者があり、1割以上が本県の教員でした。熱心に講座に参加する姿はとても感動をさせられました。

学校という組織の構成員である教員個々の力量を高めることが、優れた組織を生み出す大きな力となります。大量退職時代を迎えつつあり、若手教員が増える中、一人でも多くの教員が課題意識を持ち、様々な研修機会を通して力量を高めるように努めていただきたいと思います。県の総合教育センターでは、数多くの研修を企画しています。特にネットDE研修では、尾木直樹先生や秋山仁先生など、全国的にも著名な方の講座が、自分の空いている時間を利用して学ぶことができますので、積極的に活用いただければと思います。

一方で、優れた組織においては、教員の力量を高める取組が活発に行われます。教員が前向きに参加する充実した校内研修会、先進校視察をした教員による詳細な還流及び実践、ベテラン教員から若手教員への有効なアドバイスなどです。これらのことにより、さらに教員個々の力量が向上しますので、授業の質がさらに向上し、保護者や地域からの信頼も厚くなります。

個と組織が双方向に影響を与え合うことが、信頼される学校の原点です。

コラム

管理職の役割とは

管理職は「学力向上」という目標達成のために、常にPDCAサイクルの視点をもって、適切に**マネジメント**していくことが必要です。

まずは、自校の現状、課題を**的確に把握**することが大切です。

《計画的・組織的な取組》

- 全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックによる課題の把握と分析
- 状況や課題を解決するための方策を教員が共有
- 指導方法の工夫改善やワークシートを活用した課題解決の取組
- 間違いやつまずきから始まる繰り返し学習への取組
- 管理職による授業の見回りや参観後の授業力向上に向けた指導・助言
- 家庭学習と児童生徒の学力などを共有して保護者や地域と連携

校長がほぼ毎日
授業を見回った学校
(小学校)

H25 39.2%

H27 77.6%

Up!!

具体的に取り組んだ後は、成果と課題を明確にし、継続的な改善を進めていきます。

また、校長は教員の指導方法や授業改善、悩みなどについて**対話を重ね**、「教員の能力、意欲の向上」、「組織力の向上」につなげていくことが重要です。

校長のリーダーシップで 学校は変わります!!

